

## 2016年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2016年5月31日(火) 18:00 ~19:42

場所: 聖路加国際大学 1階 大会議室

議長: 萱間 真美(委員長)

出席委員: 萱間真美、鶴若麻理、菱沼典子、片岡弥恵子、小野若菜子、小林京子、宮坂勝之、松井 陽、  
中村めぐみ、墨岡 亮、児玉 安司、鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員: 小松康宏

(出席者 13人をもって、委員会の成立)

### 1. 審議事項: 新規申請(本審査)、司会: 委員長 萱間真美

#### ① ポズナー タマラ (看護教育学 修士課程2年)

「現任教育における新人看護師が受けたいじめの体験」

研究責任者(ポズナー タマラ氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

#### ② 皆川 愛 (基礎看護学 修士課程2年)

「日本における文化言語的マイノリティとしてのろう者が医療を受ける体験」

研究責任者(皆川 愛氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

#### ③ 沖村 愛子 (がん看護学・緩和ケア修士課程2年)

「終末期がん患者の療養場所選択に関する意思決定の関連要因と遺族が抱く後悔との関係」

研究責任者(沖村 愛子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

#### ④ 野村 志帆 (急性期看護学 修士課程2年)

「集中治療室に再入院を繰り返す慢性心不全患者が、その体験を踏まえて急性増悪を予防するための退院後の自己管理に関する認識と行動」

研究責任者(野村 志帆氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 修正の上で承認

#### ⑤ 宇都宮 明美 (急性期看護学 准教授)

「開心術前患者の手術や術後リスクに対する認識」

研究責任者(宇都宮 明美氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 修正の上で承認

## 2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
16-A001	がんが進行していくなかにある患者の経験－「存在すること」の希望－	基礎看護学	博士後期課程3年	川端 愛
16-A002	タンザニア施設内分娩における看護・助産師から女性への“軽蔑と虐待”の実態およびその要因の探索	助産学	博士後期課程2年	下田 佳奈

## 3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	15-067	日本独自の香りを用いた芳香浴による成人女性のストレス反応緩和の効果－ゆず、さくらを用いた実験研究－	看護技術学	准教授	大久保暢子
変更申請	15-068	サクラセルエキスエストラクトを用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討	看護技術学	准教授	大久保暢子

## 4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員会ファイルを配布する旨の報告があった。
- ③ 審査案件につける添付書類は今後も継続していく旨の報告があった。

## 5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2016年6月21日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。